

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成28年11月15日(火)旧大連航路上屋(2階ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 門司区小森江の子供のもり公園について、土手や池があり、市民が住んでいるところから離れた場所で、人目に付きにくい公園です。集団で遊ぶにはいいのですが、親子二人で遊ぶには怖いという声を聞きます。市はどのように考えますか。</p>	<p>公園整備として「地域に役立つ公園づくり事業」というのがあります。小学校区単位で住民の皆さんと、どういう公園にしたら使いやすいかということを話し合っておりますので、そ 中でご意見を反映させていただければよろしいかと思います。</p>
<p>② 和布刈公園については、レトロ地区の延長としてではなく、和布刈公園自体を再開発するという視点で進めていただき、レトロ地区と和布刈公園の二つをそれぞれ整備するというのが私はいいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>③ レトロ地区周辺について、棧橋通りに郵便局がありますが、あそこから見るととにかく緑が少ないという感じがします。せっかくレトロ地区に来て、夏は木陰で遊ぶ所もないし、ベンチもない。そして、3号線は大きなトラックがバンバン通り、高齢者がちょっと歩くには怖いなと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>④ 野良猫について、すごく困った状態にあります。捨て猫が多く、野犬が夜中に吠えています。市は動物に対して多額の予算を組んでいる割には、ひとつも変わらない状態はおかしいと思う。自分の案を書いて市議会に出しているはずなんですが、進まないのは市議会の中で反対する人が多いから出来ないのだと思っています。反対なら反対でいいんですが、どうして反対なのか、反対の意見を述べていただきたい。私は何回も本庁の9階に行って話しをするが、全然進まない状態です。市会議員が他人事やなくて自分の事と思って話してもらわないと進まない。犬猫に対しての予算というのをどれくらい組んでいるのか、市議会議員はわかりますか。猫の手術するんでも、今はただで出来る制度ができて、町内会長の印鑑と近所の人3人の印鑑を押してもらって、それでようやくできる。それで手術したあと、地域猫として皆で飼うというが、飼うわけない。そのような状態でやっていることを議員は知っているはずですが。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ 門司区谷町に住んでいますが、イノシシが家の周りに出て掘り返しています。夜にはイノシシの鳴き声も聞こえます。何年も前から問題になっていますが、現状についてお聞きします。</p>	<p>鳥獣被害対策として、イノシシ、猿それからアナグマや、シカ、カラスなどいろいろありますが、小倉南区、門司区、若松区、八幡西区、それから小倉北区でもイノシシ被害が増えています。小倉南区では猿による被害が多いということで、本市も非常にイノシシ、猿対策に力を入れています。今議会でも、市長質疑で出てまして、例えばこんな答弁がっております。鳥獣被害対策の拡充という点で、平成23年度から主に国の補助金を活用してワイヤーメッシュ柵の設置を進めており、平成27年度は約28キロメートル、5年間で総延長約108キロメートルの柵を設置した。今後も国の補助制度を活用し、捕獲と侵入防止を効果的、効率的に実施していきたいと考えており、本市の補助制度の拡充は、対策の一つとして勉強したいという答弁がっております。このなかでワイヤーメッシュ柵が総延長108キロメートルとあるんですが、この補助金は、おそらく商品を作っている方、商品作物を作っている方が対象です。家庭菜園にもこういうワイヤーメッシュ柵などの設置の補助金が欲しいと、こういう要望がかなり前からあっていることは認識しております。ここのところは課題です。それからイノシシを捕獲したり、猿などもそうなんですが、猟銃で撃って、食べたり、焼却処分したりということがありますが、これは猟友会などに対して国の補助金を活用し、1頭あたり8000円だと思いますが、補助金が出ております。この猟友会で課題になっているのが、高齢化で免許を持っている人の数が減っているということで、県や市が免許を取る人を増やそうと、支援しているところです。それでイノシシの捕獲数も増えまして、被害は減っているかどうかわかりませんが、課題として認識はしているということです。その他議会では、ジビエとして、イノシシやシカなどの野生動物の商品化について、そういうものを解体して商品化出来る方策はないかというような質問も出ておりますので、これは全国的な課題であり、そして本市も課題として考えていくべきことだと、恐らく皆さん認識していることだと思います。</p>
<p>⑥ 自殺する方が北九州市は年間200人ぐらいいると思います。国では3万人が2万人に減っていますが、北九州市はどのような状況になっているのでしょうか。</p>	<p>市議会の保健病院委員会でも報告がっておりますが、本市は先ほどご指摘があったように年間で200人ぐらい自殺される方がいますが、これは徐々に減少傾向にあります。平成18年に国で自殺対策基本法ができて、これに基づいて全国の自治体でいろいろな取り組みがなされておりますが、本市でも講演会だとかいろいろな活動に取り組んでいることが議会の委員会でも報告されております。自殺に至る原因の主なものは、健康問題、それから経済や生活に関する問題、そして家族間のいわゆるストレスだとか、そういうものが主な原因になっているということが報告されておりますが、自殺予防でいろいろな取り組みがなされている中で、徐々に減少傾向にあるということは、一定の効果が出ているのではないかと考えているところです。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成28年11月21日(月)若松市民会館(小ホール)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 地方交付税等の推移の棒グラフを見ると、平成23年度から27年度まで毎年減少していますが、その理由は为什么呢。</p>	<p>いわゆる地方交付税は、地方公共団体の財源調整ということになっておりまして、要するに地方公共団体の歳入が増えると地方交付税の交付額が減るという関係になるということと、国全体が非常に厳しい財政状況にあり、全体的に絞り込まれてきているということなどから、こういう結果になっているというふうに理解しております。</p>
<p>② 戦略広報室の設置と民間プロデュースカの活用について、北九州市が日本一住みやすい、子育てしやすい町としてマスコミ等で報道されているということを、私は残念ながら全く知りませんでした。こういう週刊誌、月刊誌等の中で北九州市が紹介されたということを、新聞・テレビ等で報道されたのでしょうか。あるいは北九州市からの広報として、こういうことになりましたよということを新聞等に報告する活動はされたのでしょうか。</p>	<p>この「田舎暮らしの本」の50歳代ランキングで1位になった話であるとか、「女性自身」で北九州市は生活天国ナンバーワンだったという記事が出たということ、市政だよりとかそういう北九州市の媒体を使って皆さんにPRするということは特段しておりませんが、例えば、テレビにおきましては、NHKの夕方の全国ネットの「シブ5時」という番組で15分から20分ぐらいかけて、北九州市が非常に生活しやすいという情報を流していただきまして、テレビの方でもNHKに扱っていただいたということがありました。確かに、おっしゃるように、こういう記事あるいはテレビ番組が、全国的に北九州市のことを評価して取り上げてくださっていることを、市民の皆さんにもっと知ってもらわなければならないと思っておりますし、これからもそういう努力はしていきたいと思っております。</p>
<p>③ 危機管理のところでちょっと気になったんですけども、今年の初めに熊本の震災がありました。北九州市の行った施策というのは後手後手に回っている。例えば、水を送ろう、食物送ろう、すべて後手に回っていました。 例えば、水の備蓄なんですけれども、1番必要なのは500ミリリットルのボトルですが、これが1人につき4本、1日に最低2リットル必要だということ。北九州市は、ざっくりと100万都市で、何日分の、何リットルの備蓄があるのかということをお聞きしたいと思います。</p>	<p>本市におきましても熊本地震に対する災害の支援だとか、現場の支援というのは早急に行動しておりますけれども、一つ課題があったのは、集まったものをどう仕分けしていかに早く送るかというようなこともありました。 水は、本当に命につながる大事なものだということに我々も認識をしております。何か起こるたびに、まず水の確保だということにも認識をしております。そういった中で、数に限りはありますけれども備蓄をしております。 (後日確認したところ、水の備蓄については、66,000ℓ(1日1人当り3ℓ程度×22,000人分)を平成29年末までに整備する予定です。市民の皆様には、飲料水を含め3日分以上(できれば1週間分)の食料などの備蓄を呼びかけているところです。また、配水池などの応急給水拠点全体で全市民の7日分(1人当たり46リットル)に相当する飲料水を確保しており、給水車による応急給水活動により対応することとしています。) 我々は、災害というのは、テレビで見ている、どうも他人事というか、北九州市は災害が少ないという認識を割と多くの皆さんがお持ちです。熊本の地震では本市もかなり揺れて警報が鳴りましたので、そういった意味では身近に感じたものでありましたけれども、東日本大震災を見るときに、やはり自分のこととしてとらえて、議会や行政や一般市民の方々もやはり災害に備えるといった心構えや気構えなどが非常に大事なのではないかとこのように思っております。大切なことをご指摘をいただいたというふうに思っております。こういうことをもっともっと、みんなが備蓄はどのぐらいあるんだとか、何か起こったときには自分で何をやるんだということ、少しシミュレーションしながら、備えていくということは大事なことであります。ご指摘ありがとうございます。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>④ 今回、熊本の地震で、私たちは個人的に熊本の方と連絡を取りながら物資を送りました。通常は陸路と空路の二つしか使ってないですが、我々は漁船を使って海から入れました。これが1番迅速にその日のうちに着いたんです。 北九州市はせっかく港あるんですから、これを100%利用できるような法整備というのができれば、大変うれしく思います。</p>	<p>本市も船を持っておりますので、そういったご指摘を反映しながら、前向きな検討をさせていただきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。</p>
<p>⑤ トイレtpペーパーは静岡県で国内生産の約4割を作っていますが、そこに災害の影響があったときということで、国から個人で備蓄しておきなさいよという広報がありました。先ほどありましたように北九州市の行政で、水を備蓄するということは必要でしょうけれども、個人で備えておきなさいよということを積極的に広報することが必要じゃないかと思ひます。そうしないと、何もかも市ですということは、おそらく財政的に不可能ですから、そういう部分の活動、広報というのが、必要であろうと思ひます。</p>	<p>トイレtpペーパーももちろんそうなんですけれども、非常用持ち出し袋の準備、また情報がないとか電源が途絶えるとか、ガソリンが供給できないとかさまざまなことがあろうと思ひます。そういった部分を含めて、何か起こったときにすぐ市としてどういった発信、広報ができて、実際に皆様方に少しでも安心していただけるか、実際に避難所に素早く行っていただけるか、そういったことも非常に大事だと思ひますので、十分市民の皆さんにお願いをし、また、研究もさせていただきたいと思ひます。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成28年11月22日(火)議事堂(議場)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 北九州市は田舎暮らしの本で50歳から住みたい地方ランキング1位、女性自身で日本一子育てしやすいまちなどと言っているが、私から見たら全然だめだと思います。なぜなら、川崎市と同時期に北九州市は発足したが、川崎市に比べて北九州市はどんどん人口が減っている。人口が減っている原因を議員はどのように考えていますか。</p>	<p>さまざまな原因が考えられると思います。ここで全てを挙げることはできませんが、例えば、北九州市はもともと工業都市だったことから、産業構造の変化に伴って社会的な人口減少が進んでいきました。昭和46年頃から社会的な減少が進み、それに加えて近年になって年間の死亡者数が出生数より多くなってきた。つまり自然減少が更に加わったことで北九州市の人口の減少が進んでいる。これが大きな原因であると考えております。</p>
<p>② 北九州市には八幡製鉄所という大工場があるが、撤退とかいろいろなことで人口を減らしてきました。小野田セメントもどんどん縮小してきました。やはり大企業が撤退したということが人口減少の一番の問題だと思います。 それに関わることを考えないといけないわけですが、人を大事にして、介護とか医療、子供のためになることをしないと人口は増えないと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>③北九州市は活気が無くなって魅力がない町になりました。その衰えが人口減少の原因だと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>④ 北九州市は全国の政令市の中でもトップクラスの高齢化率であると認識しています。また、若い世代の社会減少も年々増加していると認識しており、若い世代の北九州市への評価があまり高くない表れだと思います。 50歳から住みたい地方ランキングで1位になったというのは大変喜ばしいことですが、20歳代・30歳代の若い世代の人々が北九州市に住みたいと思っていただくために、議会ではどのような議論がなされているのでしょうか。</p>	<p>若い世代、特に大学を卒業するあたりの年齢層の人口がぐんと減るという傾向があります。その一番の理由は雇用であると考えております。そこで、市議会では市内の企業に対して専門学校も含めた地元の学生の雇用を増やしていただけるような努力をしております。また、インターンシップであるとか、学生の中にさまざまな職場に行き地元企業の魅力を知ってもらうことや、あるいは、先だつての9月議会において、市内の企業に就職した際の奨学金返済の補助または免除する制度について議会から提案させていただき、現在、担当部局において検討を始めているところです。</p>
<p>⑤ 城野遺跡の現地保存断念を撤回して、大手建設会社からの土地取得に向けて協議をしていただくよう、議員の皆様から市長に働きかけていただけないか。 市議の皆さんのお力で城野遺跡を守っていただきたいという意見と要望です。よろしくお願ひします。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑥ 保育所のICT化について、なぜ公立保育所で実施しないのでしょうか。また、いくらICT化を行っても、パソコンでの業務量が多くて結局残業が増えたら元も子もないので、業務量が少なくなるようなICT化を検討していただきたい。</p>	<p>まず民間保育所で実施してから、市の保育所という方向で進めていただきたいと思います。</p>
<p>⑦ 若戸大橋と若戸トンネルの無料化後の交通量増加に伴う渋滞対策をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>若戸大橋と若戸トンネルは同時に無料化になりますが、若戸トンネルができて車は分散しており、渋滞はかなり解消されていると考えています。</p>
<p>⑧ 公園から子供たちの姿が減ったのは、もちろん公園の遊具の老朽化とかも原因だと思いますが、個人的には、公園は球技、野球やサッカー、バスケが禁止されていることが多くて、それがひとつ原因ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>現在、公園の再整備計画を進めています。地域に役立つ公園づくりということで、各小学校区で住民の皆さんといろいろ話し合いをして、ワークショップをやって、どんな公園にしていこうかということを検討しておりますので、その中で「この公園に関しては、ぜひ、球技をさせてもらいたい」というような声を上げていただきたいと思います。そうすれば、その声が反映されて、球技ができる公園になる可能性も十分にありますので、ぜひ、声を上げていただきたいと思います。</p>
<p>⑨ 門司港レトロ地区のにぎわいづくりの話がありましたが、門司港レトロ地区に実際に訪れた人の数は、どのように推移しているのでしょうか。</p>	<p>門司港レトロ地区の観光客数については、後日ホームページ上で答えさせていただきます。門司港には近現代の建築があり、また、さまざまな取り組みを行っておりまして、北九州市の魅力のスポットとなっていると思いますので、今日の報告にありましたように、さまざまな工夫をして今後も取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>⑩ ある識者の方の話では、門司港レトロ地区に関して滞在時間の話がよくクローズアップされます。その中で、日帰りのお客様が多く宿泊される方が少ないため、なかなか盛り上がり欠け、若しくは飲食店がなかなか発展しないという話を聞きました。それで民泊の活用という話もよく出てきています。今、大阪が中心として民泊をやっていると思うのですが、宿泊施設の活用に関して、市としてどうお考えでしょうか。</p>	<p>北九州市は今年の1月に国家戦略特区に政府から指定されまして、今回、特区を活用した民泊というのに取り組もうとしております。その民泊は、街中のシティホテルや旅館の営業を考慮して競合しないような郊外で、まだ具体的に固まっていないのですが、例えば空いている民家を利用してとか、そういった郊外型の民泊の取り組みをまず始めております。ではどういった方に泊まっていただくかという、外国からの観光客の方や、あるいはバックパッカーみたいな方で、市内の観光をしていただくために民泊を活用してもらおうという取り組みを今まさに始めているところです。そこで市内の観光スポットとなると当然、門司港レトロや小倉南区でいえば平尾台であるとか、北九州市はそういった観光資源をたくさん持っていますので、民泊にお泊りいただくお客様が市内の観光地を巡ってもらえるような取り組みを工夫しているところです。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑪ 次世代エネルギー産業拠点の形成について、夏ごろにこの産業地区を見に行ってきたのですが、今のところまだ何もない状態で閑散としておりました。資料に市全体の活性化と書いているのですが、とても抽象的でストーリーとか起承転結が全く見えてきません。そこは、どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>今回の議会において、響灘の洋上風力発電事業における地域住民への対応ということで質問がございました。</p> <p>市としては、「選定した事業者が、低周波音に対する環境保全対策を適切に実施されるよう助言・指導を行うとともに、地域住民に対して丁寧な説明を行うよう求めていく。なお、事業者の公募にあたっては、環境への配慮や市民理解の促進を求めており、これらの対応が適切である事業者を選定したい。」との答弁があり、議員から「響灘洋上風力発電事業について、風車が発する音や振動に対する不安が広がらないよう、専門家によるプロジェクトチームをつくり最善の方法となるよう検討されたい。」との意見が出ています。</p> <p>今、響灘地区におきましては、最大160万キロワットのLNG発電所ができる計画であります。それから、11.2万キロワットのバイオマスと石炭の混焼発電所は、2カ所の起工式が終わりまして建設中でございます。また、響灘地区は洋上風力として最大70万キロワットのポテンシャルを持っており、今、事業者の選定を行って1月中旬(正しくは下旬)以降に事業者が決まる予定と聞いております。さらに太陽光発電もあり、こういった基幹エネルギーと再生可能エネルギーが今、どんどん集積している状況でございます。</p>
<p>⑫ 次世代エネルギー産業拠点の形成をすすめていくことで、人が集まったりしてにぎわっていき、また事業自体からの収入もあって、市全体の活性化が進むと考えているということでしょうか。</p>	<p>そのように考えているとご理解いただければと思います。</p>
<p>⑬ (洋上風力発電の事業者の選定が)1月というのはどこからできたのですか。私たち住民に何も説明していないでしょう。今度の25日に地元の公民館で話し合いをする予定なんです。勝手に決めてもらっては困ります。</p>	<p>市から1月中旬(正しくは下旬)以降に業者が選定されるという報告を受けております。1月に選定されるわけですから、説明会が先に行われるかと思いますが、ご意見として承りたいと思います。</p>
<p>⑭ 北九州市にはフィルムコミッションだとか北九州マラソンだとか誇るべきコンテンツはあるといいます。説明があった「市民が得意分野や好きな分野の情報を集めて盛り上げてくれる市民コミッショナー制度」というのは、聞くだけでワクワクするような制度なんですけど、どのような制度か教えてください。</p>	<p>例えば、ラグビー好きの市民が集まって、〇〇小学校に優れた子供がいて、こんな活躍をしているとか、〇〇中学校にはこんな選手がいてこの先伸びるんじゃないかとか、そういった情報を市へどんどん提供してもらって、市がその子供たちにスポットを当てて、市と市民コミッショナーと一緒に応援していくというような制度です。もちろん、スポーツに関わらず、音楽や文学であってもよいし、さまざまなジャンルにおいて得意としている市民がコミッショナー制度をつくって、いろいろな人や物にスポットをあてて、市も協力して応援していくという制度です。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑮ ギラヴァンツがJ2で最下位になってJ3に落ちるということを昨日聞いたのですが、こういうのに莫大なお金を使う必要はないというのが私の意見です。というのは、北九州市は今後毎年4.7億円の財政負担を負わないといけなくなる。そういう無駄なお金を出す必要はないというのが私の意見です。</p> <p>こんな弱いチームではどんどんお金だけ取られて全然通用しないと思っています。こんなところにお金を出す必要はないと思います。無駄金だと思っています。大型事業は市議会としても今後はやめるべきだと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>⑯ サッカースタジアムについて、莫大な予算をかけて建設し、今後維持費等もかかっていくと思います。それにもかかわらずサッカーチームの集客率は低いので赤字の建物になると思うのですが、このサッカースタジアムで他の活用もすれば北九州市の顔となるような建物にもなると思うのですが、どのような活用方法を考えていますか。</p>	<p>多額の予算を使ってというご指摘につきましては、我々議会も重く受け止めようというのは共通していることです。確かにギラヴァンツは今回残念な結果に終わりましたが、スタジアムの利用はギラヴァンツだけではなくて、例えば、2019年にはラグビーのワールドカップが開催されますが、それに先駆けてラグビーチームのサンウルブズが来年2月に北九州市でキャンプを行い、試合も開催いたします。また、ラグビーのワールドカップの時には、イギリスの強豪チームのウェールズが来てくれるということで、サッカーのみではなくてラグビーにも使えますし、こういったスタジアムを持っていれば、まだ決定ではありませんが2020年東京オリンピック・パラリンピックのときにも、いろいろな国が北九州市に来てキャンプや練習をすることも考えられます。そういったトータルの面で北九州市のまちおこし、にぎわいづくりに活用できると考えています。</p> <p>またコンサートにも使えますし、例えばグラウンドゴルフとかそういった利用法も考えられます。これから市民の皆さんとともにいろいろな活用方法を考えていければよいかと思っております。</p>
<p>⑰ 私は、ギラヴァンツのサポーターとして、今後とも支援をいただきたいというのをひとつお願いします。理由は大きく2つあります。まず、あまり知られていないのですが、この北九州市は九州で唯一天皇杯で優勝したチームを輩出したところでもあります。あの鳥栖でさえも4位までです。その血は脈々と受け継がれていて、北九州市から大久保、平山、東、その他数々の有能なサッカー選手を輩出しております。J3に落ちたからといって、このサッカーの血を止めてはならないというのが意見です。</p> <p>もうひとつは、このクラブはまだまだ発展途上です。Jリーグもそうなんです。まだ未完成ですし、つたない部分もいっぱいあります。でも、ここで支援をやめたらつぶれる可能性もあります。そういう危機感を私は持っているので、ぜひ、そういうことにならないように今後とも支援をお願いいたします。</p> <p>それと、単純に一人のサポーターとしてスタジアムを造ってくれて、また市としてホームスタジアムとして使ってもいいよという許可をいただいたことに感謝を申し上げたいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>⑱ 西日本総合展示場でいろいろと催し物をやっているのですが、何をやっているのかよく分かりません。毎回、展示場に行ってみて、こんなことをやっているのかということがあります。</p> <p>例えば、催し物やる場合に小倉駅にボードを1個安く貸し出してポスターを張ってもいいよとか、せっかくイベントをしてもらうんですから、そのイベント自体を盛り上げるようにやってもらいたいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
⑱ ギラヴァンツは福岡と合併したらいかがですか。	ご意見として承ります。
<p>⑳ 来年、北九州市議会議員選挙があります。いつものように叫ぶだけの選挙はやめて、候補者が集まって議論を戦わせて有権者がそれを聞いて選べばよいと思います。私はいつも選挙はサイコロを転がして選んでいます。市民が分かるように「こんなことをやりたい。あんなことをやりたい。」とはっきりと主張してもらって、そして我々の質問を聞いて、それに具体的に答えてほしい。今日の報告で若松や門司のにぎわいと書いてますけど、若戸大橋とトンネルを無料化したって若松がにぎやかになるわけない。だから皆さんは若松に行ってそれぞれの特色をいろいろ勉強して、具体的に策を市民に提案してみたらどうですか。勉強が足りないし、ちょっとバラ色に描きすぎているのではないですか。能天気な気がします。</p>	ご意見として承ります。
㉑ 議会報告会を大学や高校でもできないでしょうか。議場や市民会館とかでやっているのは知っているんですが、あまり若い人がいないなあというのが正直な感想で、せっかくこういうことをやってくださるのなら、今、18歳選挙権にもなって若い人にも政治が広がっているので、こういう機会をできれば教育の場でもやってほしいというのが要望です。	ご意見として承ります。
㉒ 北九州市には本格的な遺跡公園が一つもない。今、城野遺跡が黙って潰されてしまうと遺跡公園は北九州市にはつくれないと思います。文化遺産保護行政をしっかりとやってほしいです。	ご意見として承ります。
㉓ 門司港レトロ地区には、大阪からもフェリーを使い観光客は来ており活性化しています。	ご意見として承ります。
㉔ 公園に何でも造ってはいけません。私の横の人は公園で野球をしたために片目が見えなくなったりしました。野球をする場所も考えて造ってほしいと思います。	ご意見として承ります。
㉕ 保育園への送り迎えの時に、車上荒らしに遭う問題が起こっております。	ご意見として承ります。
㉖ スタジアムは、いろいろな親善試合とか考えて造っています。	ご意見として承ります。
㉗ スケートボードができる場所をもっと増やしてください。	ご意見として承ります。

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成28年11月15日(火)旧大連航路上屋(2階ホール)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 公園の砂場は、猫や犬などによる汚染で、一時期、寄生虫などが問題になったと思いますが、今はそういうことはないのでしょうか。</p>	<p>砂場の衛生管理対応策については、地元要望等により調査し、以下に示す衛生対策を実施しています。 (1)砂の入れ替え、 (2)手洗い用衛生水栓の取り付け、 (3)砂場柵設置(幼児が多く、柵設置の要望があり、扉の管理を地元の協力が得られる箇所について地元と協議し設置している。また、公園の再整備や改良等を行う際は、地元と十分協議し、効果の期待できる箇所について、犬猫のフン対策を目的として実施している。)、 (4)水溶性抗菌剤の散布、 (5)市民(愛護会)協力による砂場のシート掛け、 (6)市民PR(a看板標示による飼い主の啓発、b狂犬病予防注射時の飼い主への啓発)</p>
<p>② 全国的に海外からの観光客が増えています。北九州市の外国人観光客数など状況がわかれば教えてください。</p>	<p>本市の外国人観光客数の推移ですが、 平成23年 6.5万人 平成24年 11.4万人 平成25年 13.2万人 平成26年 16.7万人 平成27年 25.2万人 となっており、平成27年は、対前年比で50.9%増となっております。 (なお、H23年は東日本大震災により大きく減少。H22年は11万人。)</p>

平成28年11月22日(火)議事堂(議場)

質疑・意見の要旨(当日回答保留分)	議員回答要旨(当日回答保留分)
<p>① 門司港レトロ地区に実際に訪れた人の数は、どのように推移しているのでしょうか。</p>	<p>門司港レトロ地区の観光客数の推移ですが、 平成23年 191.5万人 平成24年 193.0万人 平成25年 205.7万人 平成26年 209.1万人 平成27年 211.6万人 となっており、平成27年は、対前年比で1.2%増となっております。</p>